
中間報告後の市民・事業者等との意見交換について

川崎市環境局

< 意見交換状況 >

1 実施時期 2025年1～3月

2 対象者 市民、事業者

専修大学

ごみゼロカフェ（高校生・大学生・社会人）

市民関係団体

産業資源循環協会

リエゾン連絡協議会

産業廃棄物排出事業者

川崎工業振興倶楽部行政連絡会

市民の主な意見

■ 専修大学、ごみゼロカフェにおけるプラスチック等の分別向上に向けたアイデア

「プラスチックや衣類を燃やしてもCO₂が沢山出ることを知らない、なぜ分別が必要なのかを知らない」

【まずは知ってもらう】

- ・ 交通機関や集積所にポスター、ショート動画、インフルエンサーとのコラボ、メリットよりもデメリット、手選別の苦勞を知らせる、環境教育等

【インセンティブ】

- ・ ポイントアプリなど分別すると得をする仕組み、スーパーで回収ポイント

【罰則】

- ・ 分別していないごみを取り置きして気づかせる

【分別向上】

- ・ 視覚的に分別が分かる写真、アプリで画像検索



■ 市民団体

- ・ プラスチック資源回収の段階的拡大の他、**分別の必要性**や**処理後の流れ**（どんなものに生まれ変わっているか）を**もっとPRした方が若い世代を含め、意識が変わるのではないか**
- ・ 行政だけでなく、**民間企業などと連携した広報**がよい。一緒に連携できる部分は進めていきたい
- ・ **リユース衣類は、子育て世代**向けのおさがりBOXが口コミで広がって人気あり、**需要**があるのではないか
- ・ **食品ロス**の更なる取組が必要と考えており、次期計画での**具体的な事業に期待**している
- ・ 今後、増加が見込まれる**紙おむつへの対策の検討**が必要ではないか

事業者の主な意見

■ 事業者

- ・ 廃棄物・不要物の**再利用**の**情報が欲しい**（製造事業者・リサイクル業者）
- ・ **有価物の引取り、マテリアルリサイクル業者情報、事例紹介等の情報が欲しい**（製造事業者）
- ・ 自社開発した**再生品や再生材の普及**について、市から**バックアップして欲しい**（リサイクル業者）
- ・ 先進的な処理技術があっても、**廃棄物は処理費が安い方を選ぶ傾向**が強く、**新たな認定制度、ブランド化等で差別化**が図られると良い（リサイクル業者）
- ・ 社員教育の為、廃棄物に関しての講演をお願いしたい（製造事業者）